

東濃信金、計100万円寄付

創業100周年 多治見など9市町に

東濃信用金庫(多治見市)は、今年1月に創業100周年を迎えたのを記念し、営業エリアの9市町に対し計1千万円を寄付する。22日には、このうち5市町の市長や町長を加知康之理事長らが訪ね、目録を手渡した。

見、美濃加茂、瑞浪、土岐、可児の各市、川辺、八百津、御嵩の各町。さらに支店が多い愛知県春日井市を加え、それぞれ100万円(多治見市のみ200万円)を贈る。多治見市と御嵩町を除き、7市町には企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)として寄付する。この日土岐市では、加知



信用金庫 機
寄付目録を手渡す加知康之理事長(右)と土岐市役所

理事長らが加藤淳司市長を市役所に訪ね、「地域にご愛顧いただいて100年を迎えることができ、記念事

業で寄付を計画した」として目録を手渡した。同市の企業版ふるさと納税としては2020年度の創設以来第1号になる。市美濃陶磁歴史館に代わる新博物館建設事業に役立てる。

(箕浦由美子)

各市町の用途は次の通り。

- ▽多治見市 教育振興基金(図書)
- ▽瑞浪市 道の駅整備
- ▽美濃加茂市 姫Biz
- ▽可児市 運動公園整備
- ▽御嵩町 福祉事業
- ▽川辺町 防災拠点整備
- ▽八百津町 八百津に呼び込む事業